

令和6年能登半島地震に係る被災地への職員派遣状況について

令和6年6月24日（月）知事定例記者会見で御質問いただいた標記の件について、下記のとおり回答いたします。

記

質問内容

まもなく能登半島地震から半年になるが、現在の宮城県から石川県への支援状況はどのようになっているか。

回答

能登半島地震の発災以降、1月8日から5月31日までの間に、石川県内の被災自治体に対し、本県から計255名、県内市町村から計150名の職員を短期で派遣し、情報連絡員、避難所運営、住家被害認定調査など応急復旧の業務等に当たりました。

4月以降は、本県から富山県に1名、石川県に6名、能登町に4名の計11名、県内市町村から石川県内の被災自治体に計12名の職員を中・長期で派遣しています。

なお、職員の派遣先や業務内容等の情報を含む、令和6年能登半島地震に係る被災地への職員派遣については、県ホームページで公開しており、順次更新を行っておりますので、御活用ください。

<県ホームページ：被災地への職員派遣状況>

<https://www.pref.miyagi.jp/soshiki/kikisom/syokuinhaken.html>